



羽合小学校 学校通信

平成26年5月21日 NO, 28

新たな挑戦！！

学校の先生には残業という概念がありません。教職員には時間外勤務手当が支給されないからです。ですから校長は先生方に定時に帰るように指導していますが、時間内に業務が終わることはほとんど無く、遅くまで学校に残って教材の研究や授業の準備に取り組んでいるのが現状です。でも、せめて9時までには帰ってほしいと、9時を過ぎる場合には校長の許可を得るようにしています。昨日も「遅くなりますから了解ください」との事でしたので、業務を尋ねたところ、組み体操の構成や音楽に関わる調整をしたいとのことでした。

わたしたちの羽合小学校の運動会のフィナーレを飾る組み体操「恵創花伝」は見所満載、感動の組み体操です。私も昨年の運動会で初めて見たのですが、小学生とは思えない立派な演技でした。今年も同じように行われると思っていましたが、そうではありませんでした。高学年の先生方は、**新しい技や構成を取り入れ「恵創花伝2014」**という新たな挑戦をしようとしています。

完成された今までの演技やその流れを大切にしながらも、新しいものを作り上げるのはそうそう簡単なことではありません。こどもたちの練習の時間も限られていますから完成できない

かも知れません。でも、挑戦はすばらしい。先輩の残した**伝統を乗り越え、新しいものを作ろうとする姿がすばらしい**と思います。

こどもたちも練習に頑張っています。それぞれの役割を、歯を食いしばって果たしています。あちこちが痛んで大変だと思います。でも、先生方も頑張っています。こどもたちの姿を目に浮かべながら、よりよいものを生み出そうと頑張っています。**まさに師弟同行なのだと思います。**

24日の運動会で、様々な技が成功するかしないかはわかりません。失敗することがあるかも知れませんし、練習はしたけれどお見せしないものがあるかも知れません。しかし、**今、一生懸命取り組み、創り上げようとするすべての営みが「恵創花伝2014」なのだと思います。**これが、こどもたちの、先生方の心に残っていくことと思います。

そう考えると、運動会当日だけでは皆様へ「恵創花伝2014」のすべてをお見せできないこととなりますが、演技の中にたくさんの努力が秘められていると感じていただけたらうれしいです。

運動会のフィナーレ「恵創花伝2014」は、涙なしには見られないかもしれません。

【反響】

昨日、郷ひろみさんの事をお話しましたが、すぐに郷ひろみさんの昔からのファンの方から声をかけていただきました。身近なところにも熱心なファンの方がおられて、根強い人気のある方だと改めて思いました。それも「自分を律する厳しさ」あつてのことだと思います。

羽合小学校 寺谷英則